

施設向け
感染対策レター

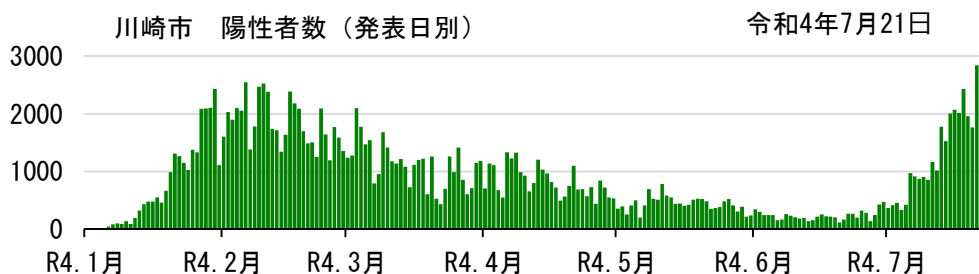
令和4年7月
第18号

川崎市保健所 感染症対策担当 編

TEL : 044 - 200-2342
Email:40kansen@city.kawasaki.jp

新型コロナ (COVID-19) 感染者急増!

7月に入り新型コロナウイルス感染者は急増に増加しています。感染者数が増加すれば、高齢者の感染者の増加とともに重症者・死亡者も増加することが懸念されます。



COVID-19 濃厚接触者の待機期間が短縮

ハイリスク施設 (入所・入院する高齢者・障害児者施設や医療機関) や保育所等の従事者が濃厚接触者となった場合、外部からの応援職員等の確保が困難な施設であって、一定の要件を満たす限りにおいて、待機期間中、毎日の検査による陰性確認によって、業務従事は可能と示されています。

要件等詳しくは厚生労働省の事務連絡を確認して下さい→
<https://www.mhlw.go.jp/content/000969055.pdf>



濃厚接触者で抗原検査を実施し、業務従事する場合

無症状者であること。

抗原定性検査 (抗原検査キット) 結果が陰性であっても、偽陰性の可能性も考慮し、症状がある場合は勤務を控えてください。

7日間が過ぎるまでは、要注意

オミクロン株になっても、6日目以降に発症した人が約17%いることに注意しましょう。健康観察、マスク着用等の感染対策を継続

SARS-CoV-2の変異株B.1.1.529系統 (オミクロン株) の潜伏期間の推定: 暫定報告 (国立感染症研究所HPより)

**医療従事者や高齢者施設等の従事者の
新型コロナワクチン4回目接種**



新型コロナワクチン4回目接種の対象者が、拡大されました。3回目接種から5か月経過したら接種可能です。接種券の申請方法、接種券なしでの接種の実施方法などは川崎市のホームページでご確認ください。
<https://www.city.kawasaki.jp/350/page/0000136423.html>



マスクの日本産業規格 (JIS)

これまで日本にはマスクに対する公的な規格・基準は整備されていませんでした。COVID-19の発生以来、需要の急増に伴い様々な品質のマスクが出回りました。2021年、日本産業規格 (Japanese Industrial Standards: JIS) によって品質基準の評価に用いる検査項目が定められました。

□ JIS T9001

- ① 医療用マスク (一般医療、介護などに従事する方々が使用するマスク)
- ② 一般マスク (一般消費者が使用するマスク)



同じJIS規格に適合しているマスクでも、医療用マスクに厳密な検査項目が設けられているのに対して、一般用マスクの検査項目は穏やかです。医療用と一般用では異なるので選択の際には注意が必要です。

□ JIS T9002

N95マスクなどの感染対策医療用マスク



参考資料 (一社) 日本衛生材料工業連合会 全国マスク工業会
https://www.jhpie.or.jp/about/jis/img/jis_works_t9001.pdf

医療用マスク (サージカルマスク) の感染予防効果

マスクの着用により感染リスクを減少することが報告されています。しかし、マスクの正しい着用や付け外しを行うことが必要です。

外したマスクを着衣のポケットには入れないようにしましょう。休憩前にマスクを棄て、食事後に新しいマスクを着けましょう。少なくとも、出勤時、食事後、退勤時にマスクを交換しましょう。

